

どうもね！が響き合うまち 石巻

こねっと Vol.3



地域サロン・たのしみ会 でのひとコマ（桃生地区）

つながり、支え合い、思い描く地域の未来。

第2層協議体・活動メンバーへのインタビュー！

- 支え合う地域づくりの現場から
- 地域の魅力！じいばあいーっす！
- 生活支援体制整備事業 Q&A

こねっと、とは…「こねる」と「ネットワーク」（つながり）を組み合わせた造語で、地域が混ざり合うことでたくさんのつながりが生まれるようにとの思いが込められています。こねっとでは、市内の「支え合い情報」や「生活支援情報」のほか、地域のみなさんの頑張りを発信していきます♪

石巻市生活支援体制整備事業

つながり、支え合い、思い描く地域の未来。

「協議体のメンバー」として活動している人々は、何を思いどんな地域の未来を思い描いているのか？
河北地区、釜・大街道地区、石巻地区、各第2層協議体メンバー三人の方にお話をお聞きしました。

1 活動に参加して感じていることは？

坂本さん 様々な立場の人が集まり、知識や経験を活かし、知恵を出し合う場ができ嬉しいです。お客さんのな会議ではない住民主体を実感しています。

長沼さん 当初、目的は理解できましたが、なぜ住民が『介護予防、社会参加生活支援』を推進しなければならないのか疑問でした。

高橋さん 復興住宅（団地）の自分たちには関係ない内容だと思っていました。でも参加してみたら、地域の状況が見えるようになり、どんな困りごとがあるのかも分かるようになりました。

2 活動に参加してよかったことは？

坂本さん より支え合いを考えるきっかけになっています。昨年、地区で座談会を行い、「高齢者や子どもたちと一緒に、使っていない畑の活用を考えよう」と話が進んでいます。

長沼さん 様々な角度から情報を得ることができます。『わくわく通信』※1の取材のために地域に出ることも増え、情報発信する面白さを感じています。

高橋さん 色々な人と繋がれるのが良いですね。この地区に引っ越してきて、やっと地域の一員になった感じがしています。

3 活動に参加して自身の変化は？

坂本さん 積極性が増したと感じています。良い意味でますます忙しくなりました。（笑）

長沼さん 高齢者に目が向くようになりました。情報発信の大切さや情報活用することの必要性を感じています。

高橋さん 団地だけでなく、地区全体を意識するようになりました。見守り活動やおすそ分けなど、お互いの助け合いは、やっぱり大切なあと実感しています。

4 どんな地域にしていきたいですか？

坂本さん 「助けてけらいん」が気軽に言える地域になるといいですね。仏教の中には「人は人によって生かされている。誰もひとりでは生きていない。そして自分も支えているひとりでもある。役に立たないというものはない」という福祉に通じる考え方があります。人に頼ることが申し訳ないという考えがなくなるといいなあと思います。

長沼さん 顔の見える地域づくりが大切だと思っています。高齢者が外に出やすい環境づくりから始めたいです。

石巻地区
高橋徳男さん
復興住宅住民



釜・大街道地区
長沼守康さん
元教員



河北地区
坂本顕一さん
住職



す。これまで団地でお茶会をし、顔の見える、助け合える関係が築けたので、良い活動をもっと広げていきたいです。

5 これから取り組んでみたいことは？

坂本さん まずは、協議体に参加している人たちの交流をもっと深めたいです。運動公園など地域にある場所を上手に活用し、『楽しむ』をつくるということに取り組みたいと思います。昔からあった、人が集まると情報が集まるといったつながり方も大事にしていきたいですね。

長沼さん 生活に役立つ情報や困ったときの相談先など、身近な情報を『わくわく通信』に掲載できると良いと思っています。高齢者の避難訓練の呼びかけなども提案し、いざという時も助け合える地域にしていきたいですね。

高橋さん 子どもたちの未来を大切にしたい取り組みを考えたいです。学校と一緒に、協議体メンバーが地域の見守りなどもできるいいなあと 생각합니다。地域の目で子どもたちを守り、自分たちも役割があると元気でいられるですね。話し合うだけでなく、実際に取り組むことでより親密になれると思います。

—— 担当コーディネーター
鈴木麻千子・及川里美・杉浦有紀

支え合う地域づくりの現場から

地域での困りごとや地域課題を共有し、助け合いの仕組み作りに奮闘する“協議体の今”をお届けします。

蛇田地区 第2層協議体



『食・子育て』が話題の中心となっています。ここは、ひとりの住民として気兼ねなく話せる場で、多世代が共感できる身近な話題で盛り上がっています。例えば、「私たちは手間をかけて料理をし、振る舞うのが好きなのよ」という声に、若い世代からは「核家族だし、ご近所づきあいがいから食べたこともないわ」など、生活スタイルや考え方の違いが話されることもしばしば。そこから、料理を通じた交流や街の中にある畑での取り組みにつながっています。お互いの考え方の良し悪しよりも、補完し合うにはどうしたらいいか、どんな場だったら両方の強みを活かしていけるか。高齢者の『暮らしの工夫』を聞き、最近の流行を教えてくれる若者世代と『蛇田の未来』を一緒に考えていく場になっています。



担当
コーディネーター
齋藤守克

牡鹿地区 第2層協議体

支え合い会議



『移動・防災・資源活用』をテーマに昨年は市民バス乗車体験会を実施しました。今年5月には網地島へ渡り、カーシェアリングと住民バスを利用し、閉校となった学校を活用した『網小医院』と『島の楽校』について学びました。網地島では医療が課題でしたが、住民・法人・行政が力を合わせ、平成11年に網小医院が開院となったそうです。また島の楽校では、島外の子どもたちに対し、竹とんぼや竹鉄砲作りなど住民の得意を活かした取り組みを行っています。校長先生と呼ばれている阿部さんは、「子どもたちの喜ぶ顔を見るのが私たちの生きがい」と嬉しそうに表情で話されていました。今回の視察を通し、実際に見て学ぶことの大切さを共有しています。立場を越えて協力し合うことの大事さや、一人ひとりが楽しみや生きがいを持って暮らすことの大切さにも改めて気づかされました。



担当
コーディネーター
佐々木由布子

校舎を再利用『人の心と医療をつなぐ』取り組みを視察

『移動・防災・資源活用』をテーマに昨年は市民バス乗車体験会を実施しました。今年5月には網地島へ渡り、カーシェアリングと住民バスを利用し、閉校となった学校を活用した『網小医院』と『島の楽校』について学びました。

じいばあいーっす！

高齢になってもみんなが助け合い一緒に暮らせる社会！
地域の魅力は、そこに住む人々の魅力でもあります。

“地域の文化を子どもたちへ”と佐々木さん

● 河南地区 佐々木洋さん(80代)、哲子さん(70代)

佐々木さんご夫婦は、長年教員を務められ、現在は和わ小こ子こクラブの子どもたちへお米づくり、たこあげといった昔の遊び等、普段の授業では学べないことを伝える活動をしています。

この活動を通して、学校の外でも会っても挨拶をし、声を掛け合うような関係性を築けていることがお二人にとつての喜びとなっています。また「この活動に協力してくれる地域の人たちが活躍する姿や、子どもたちの輝く目を見るのが生きがいになっている」と顔をほころばせていました。



柳橋さんの秘密基地は“地域の集いの場”

● 稲井地区 柳橋きみ子さん(70代)

モノづくりやお絵描き、民話など様々なことにチャレンジしている柳橋さん。素敵な笑顔と元気な笑い声でみんなを明るくしてくれます。

そんな柳橋さん宅には、まるで秘密基地のような『好き』がいっぱい詰まった作業部屋があります。そこには地区の友人たちが遊びに来て、お茶つこのみを楽しみながら楽しい時間を過ごしています。

世間話をしたり、モノづくりをしたり、なんと本の貸し出しもしているとか。『お話するのが楽しくて、自分の元気の素になっているの。もっと色々な人に来てほしい！』と持ち前の笑顔でお話してくれました。



(担当コーディネーター 田口夢子)

数字でみる石巻市の高齢者状況

Q 生活支援体制整備事業って？

A 平成27年に改正された介護保険制度の中で位置付けられている、“高齢者の生活を支える体制づくり”を進める事業です。「生活支援コーディネーター」の配置と「協議体（地域の支え合いを話し合う場）」の設置を通じて、地域主体の助け合い活動を推進します。



第1層生活支援
コーディネーター
小松沙織

Q 石巻市全体の高齢化率は？

A 石巻市の人口は、**135,806** 人です。そのうち高齢者は、**46,866** 人で、高齢化率は **34.5%** です。各地区の高齢化率は下記のとおりです。（令和5年3月31日現在）
高齢者とは： 国連の世界保健機関（WHO）の定義では、65 歳以上の人のことを高齢者としています。

	石巻	住吉	門脇	湊	山下	蛇田	荻浜	渡波
人口(人)	3,990	14,848	2,557	8,241	7,356	24,037	427	13,839
高齢者数(人)	1,580	4,968	957	2,624	2,732	7,422	186	4,582
高齢化率(%)	39.5	33.4	37.4	31.8	37.1	30.8	43.5	33.1
	稲井	釜・大街道	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿
人口(人)	6,077	14,574	9,618	1,059	18,418	6,531	2,116	2,118
高齢者数(人)	2,027	4,238	3,956	622	6,292	2,589	974	1,117
高齢化率(%)	33.3	29.0	41.1	58.7	34.1	39.6	46.0	52.7

※出所：石巻市福祉部介護福祉課

Q 市内の要支援・要介護認定者数って？

A **9,980** 人です。認定率は **20.9%** です。（令和5年3月31日現在）

要支援・要介護認定とは： 介護保険の中で、介護サービスの必要度（どれ位、介護のサービスを行う必要があるか）を判断するもので、要支援1・2、要介護1～5に分けられています。

地域活動や暮らしに関する悩みごとなど、気軽に各地区担当のコーディネーターにご相談ください。

お問い合わせ

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

TEL 0225-24-8509

地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号
石巻市ささえあいセンター 3階

FAX 0225-96-5223

E-mail: csc@ishinomaki-shakyo.or.jp

発行日：令和5年7月26日